

2024 年度事業報告

自：2024 年1月1日 ～ 至：2024 年 12 月 31 日

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本

I. 基本方針

本年度は、アクションプラン 2021-2025 における、Be with all 事業の推進、持続可能な競技会・大会の取り組み、教育機関との連携等の重要施策を推進するとともに、冬季ナショナルゲーム開催事業を実施した。
また、アクションプランに掲げた事業や取り組みについての実績や効果を検証し、中間評価を行った。

【SON のミッション、ビジョン】

＜ミッション＞

知的障害のある人たちに年間を通じて、オリンピック競技種目に準じた様々なスポーツトレーニングと競技の場を提供し、参加したアスリートが健康を増進し、勇気を奮い、喜びを感じ、家族や他のアスリートそして地域の人々と、才能や技能そして友情を分かち合う機会を継続的に提供すること。

＜ビジョン＞

スペシャルオリンピックス日本は、知的障害のある人々とのスポーツを通した様々なユニファイド活動により、多くの気づきと行動を生み出します。

ステイトメント: 多様な人々が生きる社会の実現を目指す

スローガン: 「Be with all」

※本ビジョンを推進する事業を「Be with all 事業」と称する。

【アクションプラン 2021-2025】

①事業

＜イノベーション事業＞

- ・“Be with all”の普及促進
- ・ICT を活用した事業推進

＜スポーツ事業＞

- ・スポーツ活動の充実
- ・持続可能な競技会/大会の開催

②組織

- ・組織全体の適正なガバナンスの確保と最適な新組織体制の構築
- ・国内 SO 組織の再定義

③経営

- ・経営、財務資源の最適化
- ・人材マネジメント

Ⅱ. 競技会開催事業

1. 2024 年スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム

本大会は、アクションプランに基づく持続可能な競技会・大会開催に向けての取り組みとして、分散形式の開催とし、開催地の地区組織、自治体、関係団体等との連携を図りつつ、今後のナショナルゲームのモデルとなるような大会づくりをめざした。

■概要

大会名称: 2024 年第 8 回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム

(略称) スペシャルオリンピックス 2024 長野 / スペシャルオリンピックス 2024 北海道

開催期間: 2 月 11 日(日)～12 日(月・祝)

(競技) アルペンスキー/スノーボード/クロスカントリースキー/スノーシューイング

(会場) 名寄ピヤシリスキー場/なよろ健康の森 ※北海道名寄市

2 月 24 日(土)～25 日(日)

(競技) フィギュアスケート/ショートトラックスピードスケート

(会場) ビッグハット ※長野県長野市

開催地: 長野県長野市/北海道名寄市 ※分散開催

参加者: 雪上競技

アスリート: 199 名、選手団役員・コーチ等 130 名、ボランティア: 延べ 430 名

氷上競技

アスリート: 76 名、選手団役員・コーチ等 53 名、ボランティア: 延べ 307 名

実施競技: 雪上 4 競技、氷上 2 競技

雪上競技: アルペンスキー、スノーボード、クロスカントリースキー、スノーシューイング

氷上競技: フィギュアスケート、ショートトラックスピードスケート

エキシビション: フィギュアスケート ユニファイドスポーツ®エキシビション(会場: ビッグハット)

小塚崇彦氏と高橋成美氏(2014 年ソチ五輪・フィギュアスケート・ペア)、およびアスリート 4 名がコラボレーションしたエキシビションを 2 月 25 日に実施した。エキシビションのフィナーレでは、今大会に参加したフィギュアスケート競技の SO アスリート 10 名がリンクに登場し、スケーティングを披露。ユニファイドスポーツの理念を体現する特別な取り組みとなった。

2. 2026 年第 9 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲームの検討ならびに開催準備

2026 年夏季ナショナルゲームの開催地や実施競技、大会予算について決定した。

Ⅲ. 国際大会への代表選手団の派遣事業

1. 2025 年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・トリノ 派遣準備

■概要

大会名称: 2025 年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・トリノ

(英語表記: Special Olympics World Winter Games 2025)

開催地: イタリア共和国(トリノ)

開催時期: 2025 年 3 月 8 日～3 月 15 日

- 競技: 3 月 8 日～15 日

- 開会式: 3 月 8 日

－ 閉会式:3 月 15 日

参加者: 102 の国・地域

－ アスリート・パートナー 1,500 名

－ ボランティア: 2,000 名

実施競技: 8 競技 ※SO 日本選手団は ダンススポーツを除く 7 競技に派遣

アルペンスキー、スノーボード、クロスカントリースキー、スノーシューイング

フィギュアスケート、ショートトラックスピードスケート、フロアボール(ユニファイドスポーツ®)、

ダンススポーツ

日本選手団: 合計 56 名

－ アスリート・パートナー 32 名(アスリート 28 名・パートナー 4 名)

－ コーチ、役員、選手団スタッフ(医師、看護師、理学療法士含む) 24 名

本大会派遣に向け以下の活動を実施した。

日程	活動	開催地
5 月 11 日(土)	日本選手団選考委員会	オンライン
8 月 24 日(土)	コーチミーティング①	オンライン
9 月 7 日(土)	オリエンテーション	オンライン
9 月 21 日(土)～23 日(月・祝)	合同合宿	東京都
11 月 2 日(土)～4 日(月・祝)	競技別合宿	氷上競技:岩手県 フロアボール:埼玉県
12 月 6 日(金)～9 日(月)	Head of Delegation-MTG	イタリア(トリノ)
12 月 20 日(金)～22 日(日)	競技別合宿	雪上競技:岩手県

IV. 知的障害者の地域スポーツ活動振興の拠点となる地区組織等への支援事業

1. 地区連絡協議会、スポーツプログラム委員会全国会議の開催

全国代表者会議(地区連絡協議会およびスポーツプログラム委員会全国会議)をオンラインで開催し、これらの会議を通じて、SON の事業方針等を地区組織に共有するとともに地区組織との意見交換を行う場として実施した。

日程:4 月 20 日(土)

参加者:地区連絡協議会 136 名

スポーツプログラム委員会全国会議 117 名

開催形式:オンライン

2. 地区組織の認定及び更新

各地区組織から提出された 2023 年度事業報告・決算報告、2024 年度事業計画・予算等の総会資料を精査するとともに、世界共通で行われているアスリート活動調査等の提出をもって地区組織の認定更新を行い、認証状を交付した。

参考:アスリート統計調査結果(前年)

アスリート:7,766 名(7,285 名) / ユニファイドパートナー:897 名(651 名)

ボランティア:10,283 名(10,072 名) / コーチ:4,728 名(4,599 名) / 大会・競技会数 206 回(213 回)

※詳細は SON ウェブサイトを参照 <https://www.son.or.jp/son-info/statistics/>

3. 地区組織強化支援、地区組織自己評価基準の運用

約 30 項目の評価基準で地区組織自らが組織の評価を行うことで、組織的な成熟度や活動の進達度を客観的に把握するために本年も自己評価を実施した。

また、自己評価基準の実施・運用にあたり、地区組織の活動の成果を称えることを目的として下記の通り

地区組織を表彰した。

表彰の種類	地区組織	活動内容
きらり賞	SON・徳島	SON・徳島の広報番組を地元 FM ラジオ局から発信
継続努力賞	SON・鳥取	地元プロサッカーチームとの交流事業

4. 地区委員会及びブロック幹事連絡会並びにブロック連絡協議会の開催

＜ブロック幹事連絡会＞

全国 6 ブロックの代表者によるブロック幹事連絡会を隔月でオンラインにより開催した。本連絡会は、SON と地区組織・ブロック間のコミュニケーションを図ることを目的としており、各回のテーマ及び時宜に即したトピック等を議題として意見交換や情報共有を行った。定期的なコミュニケーションの機会を通じ、SON と地区間のコンセンサスを図るとともに、ブロック代表者が理解を深めながらブロック内の地区組織への情報展開や共有に努めた。

＜ブロック連絡協議会＞

ブロック内の地区組織事務局及びスポーツプログラムに関する代表者が出席するブロック連絡協議会に、上半期、下半期の年 2 回出席し、SON の事業方針や地区組織における課題などについて意見交換を行った。これにより SON と地区組織間のコミュニケーションを円滑にするとともに、実践に基づく現場の知識・ノウハウの共有が図られ、全国ネットワークにおける情報共有と地区組織の現場における活動推進力が強化された。

ブロック名	上半期ブロック会議	下半期ブロック会議
北海道・東北ブロック	4 月 20 日(土)	11 月 23 日(土・祝)
関東ブロック		12 月 14 日(土)
東海・北信越ブロック		12 月 14 日(土)
近畿ブロック		11 月 30 日(土)
中国・四国ブロック		11 月 12 日(火)
九州・沖縄ブロック		12 月 1 日(日)

5. スポーツプログラム(SP)委員会及び競技部会活動

SP 委員長会議等の定期開催及び各競技部会による Dropbox 活用によるクラウドでの資料共有、メーリングリスト利用による情報共有の円滑化を進めることにより、国内スポーツ事業全般の普及推進を図った。

6. 助成

1) スペシャルオリンピックス地域活動振興助成の創設：

競技会にとどまらず、地区組織が抱えるさまざまな課題の解決や新たな挑戦を支援することを目的として、「地区競技会推進支援制度」を見直し、新たに「スペシャルオリンピックス地域活動振興助成」を創設した。2025 年度事業の助成として、12 地区組織から計 17 件の申請を受け付け、選考基準に基づき審査を行った結果、10 地区組織 14 事業へ助成することを理事会で決議した。

2) 地域 SO 活動への特別助成：SON・愛知 500 万円、SON・広島 400 万円

V. 知的障害者のスポーツ参加及び健康増進推進事業

1. ユニファイドスポーツ®

1) ユニファイドスクール

ユニファイドスポーツ®の普及を目的として、小学校から大学までの教育機関と連携し、児童や学生、教育機関関係者を対象にユニファイドスクール事業を以下の 4 校で実施した。この事業では、フロアボールや SO のルー

ルなどを題材に、障害の有無、運動経験、技能の違いに関係なく、誰もが共にスポーツを楽しむ機会を提供し、「インクルージョン社会の実現」に向けた学びを深めることに繋げた。

学校名	学年	人数 (内・特別支援学級)	時間数
駒ヶ根市立中沢小学校 伊那養護学校(長野県)	3 年生 4 年生 はなももの里分教室	11 名 11 名 10 名	10 時間
豊田市立冷田小学校(愛知県)	3 年生 1～2、4～6 学年	5 名 35 名(1 名)	18 時間
豊田市立根川小学校(愛知県)	4 年生 5 年生 6 年生	76 名(3 名) 74 名(2 名) 87 名(1 名)	11 時間
豊田市立野見小学校(愛知県)	4 年生	60 名(4 名)	10 時間

2) ユニファイドスポーツ® アクティブセミナー

ユニファイドスポーツ®に関するアクティビティ体験や、より詳しく理解していただくための講演や実技、演習など、ユニファイドスポーツ®の普及を目的にセミナーを開催した。

日程: 10 月 5 日(土)～6 日(日)

会場: 帝京科学大学 千住キャンパス

参加者数: 61 名(1 日目: 55 名、2 日目: 41 名)

3) Unified Sports® ウェビナー2024

ユニファイドスポーツ®の取り組み事例として、SON が実施するユニファイドスクール事業の内容や、本事業を通じた可能性を紹介し、ユニファイドスポーツ®の認知向上と普及促進を図った。

	日程	テーマ	参加者数
第 1 回	10 月 31 日(木)	ユニファイドスポーツ・アクティブセミナーを終えての振り返り	108 名
第 2 回	11 月 28 日(木)	ユニファイドスクールの取り組み事例と可能性	110 名

2. 多様なアスリートの参加促進

1) ヤングアスリートプログラム

幼児期の子どもたちを対象にしたヤングアスリートプログラムの訴求を図るため、SON・岩手が主催するヤングアスリート(YA)体験会へ協力した。

■概要

日時: 12 月 14 日(土) 10:00～12:00

会場: ふれあいランド岩手(岩手県)

参加者: 2 歳～7 歳の知的障害のある子どもと知的障害のない子ども、その保護者

参加数: 子ども 7 名(5 名知的障害あり、2 名知的障害なし)、保護者 7 名

主催: スペシャルオリンピックス日本・岩手

2) スペシャルオリンピックス日本 SO School Days 名寄

2024 年スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲームの雪上競技の開催地である名寄市で、より気軽に、ユニファイドスクールを体験していただけるイベントとして、SO School Days を開催した。

■概要

日時: 2024 年 12 月 14 日(土) 9:00～12:00

会場:名寄市立大学 体育館

内容:児童生徒によるスポーツ体験、ユニファイドスクール説明会

対象:・名寄市内、または周辺地域に在住の小学 1 年生～中学 3 年生

・ユニファイドスクールに興味のある、教育機関関係者の方

参加人数: 49 名

3)スペシャルオリンピックス日本 2024 年オンラインボウリング記録会

全国のアスリートと競い合いたいけれども、生活面に不安があり、宿泊を伴う大会への参加を見合わせているアスリート等、多様なアスリートが全国のアスリートと競い合える機会として、2024 年オンラインボウリング記録会を開催した。

■概要

開催期間: 2024 年 10 月 15 日～11 月 30 日

実施競技種目:ボウリング シングルス

参加地区: 34 地区

参加人数: 977 名

3. ヘルスケアの啓発と実践

スポーツウェルネス委員会にて、従来のヘルス分野に加え、メディカル分野の充実を図った。

また、冬季ナショナルゲームでの HAP の実施に加えて、ヘルシー・アスリート・プログラムの 1 部門である

Medfest を実施し、アスリートの医療安全の充実を図った。

※ Medfest とは

HAP の一部門であり、メディカルフォームを基にスクリーニングを行い、アスリートやユニファイドパートナーがスポーツを安全に行えるかどうかの確認を行う。Medfest はアスリートやユニファイドパートナーの入会時のメディカルフォームおよび世界大会のエントリーフォームとしても採用されている。

●HAP の実施(6 部門)

＜2024 年スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム＞

日程: 2024 年 2 月 24 日(土)、25 日(日)

会場: 長野市若里市民文化ホール/長野市多目的スポーツアリーナ ビッグハット

対象者:・大会に参加するスペシャルオリンピックスのアスリート

・周辺地域所属地区アスリート、パートナー、一般

部門:オープニングアイズ/スペシャルスマイルズ/ヘルシーヒアリング/ヘルスプロモーション/
ファンフィットネス/フィットフィート

参加者数: 計 91 名(アスリート 76 名、一般 15 名)

●Medfest の実施

＜メドフェスト in 愛知＞

日程: 2024 年 4 月 28 日(日)

会場: パロマ瑞穂リクリエーション広場

対象: SON・愛知アスリート・パートナー

参加者数: 計 46 名(アスリート 44 名、パートナー(兄弟)2 名)

<メドフェスト in 東京>

日程：2024 年 9 月 21 日(土)、22 日(日)

会場：BumB 東京スポーツ文化館

対象：2025 年 SO 冬季世界大会・トリノ アスリート、パートナー

SON 関東ブロック所属地区組織アスリート、パートナー、一般

参加者数：計 55 名(アスリート 49 名、パートナー 5 名、一般 1 名)

4. 医療安全の充実

1) 医療安全の充実、次世代人材の確保・育成

専門委員会スポーツウェルネス委員会を通じて、アスリートやユニファイドパートナーを始めとする SO 関係者が安全にスポーツ活動を行えるよう医療安全面での充実を図った。また、大学医学部や SO 活動経験を持つ医療事者との連携を図ると共に、次世代の人材確保や育成に取り組んだ。

2) ウォーミングアッププログラムの開発

メディカル部会によるフロアボールウォーミングアッププログラムの開発

VI. ボランティア、指導者、審判員等育成事業

1. 指導者養成

1) コーチクリニック

ボランティアコーチの育成と既存トレーナーのレベル及びスキルアップを目的とし、各種研修事業を開催した。

1) オンラインコーチクリニック(ゼネラルオリエンテーション・アスリート理解) : オンデマンド化 / 参加者 754 名

2) オンラインコーチクリニック(認定コーチ更新講習) : オンデマンド化 / 参加者 966 名

3) オンラインコーチクリニック(ユニファイドスポーツ) : オンデマンド化 / 参加者 93 名

4) コーチクリニック競技実技(対面) : 81 回開催(33 地区) / 参加者 958 名

※競技座学はオンデマンド(YouTube 動画視聴)で実施

2) コーチアカデミー

スポーツのより高い専門性を持ったコーチや競技会運営のためのテーブルオフィシャル(TO)の養成、また、審判法のレクチャーを目的に、2024 年度はフロアボール競技でコーチアカデミーを実施した。

<フロアボールコーチアカデミー in 埼玉>

日程：2024 年 6 月 1 日(土)、2 日(日)

会場：毎日興業アリーナ久喜(久喜市総合体育館)

参加者数：53 名(10 地区)

実施セミナー：コーチセミナー、審判法セミナー、ユニファイドフロアボール説明会

<フロアボールコーチアカデミー及び交流試合 in 広島>

日程：2024 年 10 月 26 日(土)、27 日(日)

会場：マツダ体育館

参加者数：計 59 名(コーチアカデミー参加コーチ 12 名、交流試合参加アスリート・パートナー 47 名)

実施セミナー：コーチセミナー、審判法セミナー、テーブルオフィシャルセミナー

2. スポーツプログラム委員会全国会議

各地区組織からスポーツプログラム委員会の代表者が参加し、SP 委員会体制と役割、コーチ研修制度の新制度の運用、競技部会の活動の推進、成果発表の場の拡充、新競技の導入について SON と地区組織における目標の共有と競技会運営等における課題解決に向けた取り組みについて、意見交換を行った。

日程:4 月 20 日(土) 会場: Web 会議システム

Ⅶ. 広報・啓発事業

Be with all 事業やナショナルゲーム開催事業、世界大会の派遣事業等様々な広報・啓発活動を通じて、スポーツの可能性や社会との連携の可能性を積極的に発信し、様々なステークホルダーを巻き込んだ活動を実施した。また、アスリートアンバサダーによる広報活動を実施した。

1. 広報・啓発

1) Be with all 事業における他団体・企業連携等

B リーグや中京大学などとの連携イベント開催等による”Be with all 事業”を積極的に展開した。

① B.LEAGUE Hope との連携

【Challenge with ALL プロジェクトの取り組み】

- ・ 5 月 25 日(土)日本生命 B.LEAGUE FINALS 2023-24 において開催された「B.Hope ACTION UNIFIEDSPORTS® BASKETBALL GAME」に SON・京都と SON・沖縄のアスリート・コーチが参加し、紅白戦などを通じて、Be with all、ユニファイドスポーツ®の意義などについて PR した。
- ・ SON・東京は、アルバルク東京と包括連携協定を締結し、連携を開始した。
- ・ SON・福島は、福島ファイヤーボンズとの連携を開始した。
- ・ SON・愛知は、昨年連携を開始した県内 4 つのクラブチームとともに様々な活動を展開した。

＜Challenge with ALL の参加地区と B リーグのクラブチーム＞

SON 地区組織	B リーグクラブチーム
SON・北海道	レバンガ北海道
SON・福島	福島ファイヤーボンズ
SON・東京	アルバルク東京
SON・愛知	三遠ネオフェニックス、シーホース三河、ファイティングイーグルス名古屋、名古屋ダイヤモンドドルフィンズ
SON・京都	京都ハンナリーズ
SON・島根	島根スサノオマジック
SON・沖縄	琉球ゴールデンキングス

② 企業連携

・トヨタ自動車主催事業との連携

コミュニティコンサートへのアスリート・ファミリーご招待、会場内で SO の PR を実施

・芸術花火との連携

花火鑑賞へのアスリート等のご招待、鑑賞後、アスリートと関係者による撤収作業や清掃等のボランティア活動の実施

2) アスリートアンバサダー

アスリート自身が広報活動を行う「アスリートアンバサダー事業」は第 4 期を迎え、計 5 名のアスリートアンバサダーが活動を展開した。第 4 期の取り組みでは、SON のパートナー企業・団体など、多様なステークホルダー

一との協働や連携を強化し、現場での活動機会の創出をこれまで以上に推進した。また、ラジオ DJ であり SON 広報プロジェクトアンバサダーでもあるやまだひさし氏と連携し、Podcast 番組など新たな広報施策にも取り組んだ。

<具体的な活動内容>

- ・SON パートナー企業様を訪問、各社寄付金贈呈式に出席
- ・「東京レガシーハーフマラソン 2024」のチャリティブースにて、SO 活動を PR
- ・SON 設立 30 周年記念特別対談(トヨタ自動車早川副会長との対談)にて、司会進行を務める
- ・「Special Movie ALIVE #1」の監督をしていただいた早川千絵さんとの座談会を実施

3) アスリートストーリー発表会 2024

アスリートの発信・交流の場として「アスリートストーリー発表会 2024」を開催した。全国からアスリート 10 名が参加し、自分たちで考えたテーマに合わせてスピーチを発表した。今回は支援企業・団体の方々に加え、中京大学と東洋大学の学生や SON アスリートアンバサダー(第 1 期・第 2 期)が審査員を務め、より幅広い年代層に、アスリートたちの思いやチャレンジする姿を発信する場となった。

■概要

開催日時：8 月 10 日(土)10:30-12:30

発表アスリート:10 名

配信方法：Youtube ライブ、視聴回数：900 回以上再生(2025 年 2 月現在)

4) 広報映像制作

① SON プロモーション映像「Be a fan」のショート版を公開

「Be a fan」は、2023 年 3 月、平岡拓晃新理事長就任に伴い、内容をリニューアルした。

イベントでの PR 等、広報の場においてより効果的に発信できるよう、ショート版を制作した。

② 「ヤング・アスリート(YA)」紹介動画を公開

ヤングアスリート(YA)を全国へ普及していくため、紹介動画を制作。

今後、YA に関連するイベント等で投影しながら普及活動を実施していく。

5) 2024 年第 8 回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲームでの大会ナビゲーション

2024 年スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲームの氷上競技会場で、SO 競技の魅力を伝え、観戦層の拡大を目指し、初の試みとして「大会ナビゲーション」を実施した。

■概要

実施日時:2 月 24 日(土)~25 日(日)

対象競技:フィギュアスケート、ショートトラックスピードスケート

内容:専用音声ガイドを用いて競技の特徴や見どころを紹介

進行:やまだひさし(SON 広報プロジェクトアンバサダー)、小塚崇彦・寺尾悟(SON ドリームサポーター)

配信:YouTube Live で同時配信し、会場外の観客にも提供

アーカイブ:YouTube 上で公開 ※「フィギュアスケート ユニファイドスポーツ®エキシビション」の動画含む

6) 2025 年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・トリノ 特設サイト

大会概要や SO 日本選手団のプロフィールをはじめ、「2024 年第 8 回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム」で選手団メンバーの様子が入った写真ギャラリー等を掲載し、選手団情報を随時発信するための特設サイトを開設した。

2. 資金調達(寄付・マーケティング)

Be with all 事業を軸に、さまざまなユニファイド活動により多くの気づきと行動を生み出し、他団体やパートナー企業と「交流・相互理解・機会やサービスの提供」という価値を提供し今後につながる資金調達活動を実施した。

1) 新たなパートナーシップ企業の獲得

- ・コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社とプレミアムスポンサー契約を締結
- ・三井住友信託銀行株式会社とプレミアムスポンサー契約を締結

2) 東京マラソン 2024 チャリティへの参加（東京マラソン 2024 開催日：3 月 3 日）

東京マラソン 2024 チャリティの寄付先団体として選定され、196 名（2020 年大会からの権利移行者含む）が SON のチャリティランナー（寄付者）として参加いただいた。

3) 東京レガシーハーフ マラソン 2024 への参加（開催日：10 月 20 日）

国立競技場で行われた東京レガシーハーフマラソン 2024 にチャリティ寄付先団体として選定され、10 名が SON のチャリティランナー（寄付者）として参加いただいた。

3. 他団体との連携

1) 教育機関との連携

①中京大学

- ・来田ゼミの学生が、ゼミのテーマとして、SON 及び SON 地区組織の活動に年間を通じて参加し、秋学期には、ユニファイドスクール事業の一環で、根川小学校と野見小学校の授業の一部を担当した。
- ・学生による冬季ナショナルゲームへのボランティア参加

②順天堂大学

- ・スポーツ医科学やパラスポーツ及び特別支援教育の研究推進の分野等における連携推進
- ・メディカルチームによる冬季ナショナルゲームの救護ボランティア活動、HAP・メドフェストへのボランティア参加
- ・学部生 1 名、大学院生 1 名の計 2 名による年間を通じたインターンシップ活動
- ・SON 職員による特別講義とフロアボール体験

③東洋大学

- ・ユニファイドスクール事業の一環として、東洋大学の SDGs アンバサダー（ダイバーシティグループ）の学生と共に「SON アスリートアンバサダー講演会 & ユニファイドバスケットボール体験会」を企画、実施

2) SO アジアパシフィックとの連携

10 月 24 日(木)～28 日(月)マレーシアで開催された、SO アジアパシフィックのリージョナルリーダーシップカンファレンス（カンファレンス終了後、スポーツディレクタ会議も開催）に理事、スポーツプログラム委員会委員、職員の 3 名が出席した。各国の状況や課題、今後の方針などについて情報共有が行われ、諸課題に関する様々な議論を行った。

3) 競技団体等との連携

大会やイベントで各競技団体等と相互連携を図った。

Ⅷ. 調査研究事業

1) 設立 30 周年記念誌の発行

2024 年 11 月に設立 30 周年を迎え、周年事業の一環として、これまでの国内 SO 活動の歴史だけでなく、現在注力している事業等をまとめた「スペシャルオリンピックス日本 30 周年記念誌」を制作、発行した。

発行部数: 1,000 部 94 ページ(東京都民共済助成金活用)

2) 設立 30 周年記念シンポジウム開催準備

設立 30 周年記念誌の内容を骨子とするシンポジウムを計画し、2025 年 1 月開催に向け準備を行った。

Ⅺ. 会議開催等

＜評議員会＞※対面及びオンラインのハイブリッド開催

定時評議員会 日時： 3 月 14 日(木)18:30～20:30 場所： 航空会館ビジネスフォーラム B101 号室※

臨時評議員会 日時： 9 月 19 日(木)10:00～11:35 場所： SON 事務所※

＜理事会＞※対面及びオンラインのハイブリッド開催

第 1 回理事会 日時： 2 月 28 日(水)18:30～20:25 場所： SON 事務所※

第 2 回理事会 日時： 5 月 31 日(金)18:30～19:40 場所： SON 事務所※

第 3 回理事会 日時： 7 月 1 日(月) 書面決議

第 4 回理事会 日時： 8 月 8 日(木)18:30～20:10 場所： SON 事務所※

第 5 回理事会 日時： 10 月 30 日(水)18:30～20:40 場所： SON 事務所※

第 6 回理事会 日時： 12 月 13 日(金)18:30～20:30 場所： SON 事務所※

＜評議員選定委員会＞※対面及びオンラインのハイブリッド開催

評議員選定委員会 日時： 9 月 5 日(木)15:00～15:15 場所： SON 事務所※

＜専門委員会等＞

・ スポーツウェルネス委員会

Web 会議システムを使用して会議を開催した。

－ スポーツウェルネス委員会合同会議: 7 月 4 日(木)※ヘルス部会含む

－ メディカル部会: 1 月 24 日(木)

・ スポーツプログラム委員会

Web 会議システムを使用して、スポーツプログラム委員会正副委員長会議を下記の日程で開催した。

3 月 30 日(土)、7 月 20 日(土)、10 月 19 日(土)、12 月 7 日(土)

・ 調査研究委員会

Web 会議システム等を使用して、下記の日程で会議を開催した。

1 月 19 日(金)、3 月 1 日(金)、4 月 9 日(火)、5 月 14 日(火)

6 月 14 日(金)、7 月 19 日(金)、10/18(金)

対面会議: 11 月 1 日(金)、11 月 30 日(土) 場所: SON 事務所

・ ブロック幹事連絡会、

Web 会議システムを使用して、下記の日程で会議を開催した。

1 月 18 日(木)、3 月 13 日(水)、5 月 17 日(金)、7 月 19 日(金)、9 月 20 日(金)、11 月 22 日(金)